



REFEREE AND JUDGE REGULATIONS



序文

国際ボクシング協会 (IBA) は、ボクシング スポーツの世界的な統治機関として、組織としての発展のあらゆる分野に十分な配慮、勤勉さ、注意を払うことに誇りを持っています。

それらの領域の 1 つは、レフリーとジャッジの継続的な専門能力開発 (CPD) です。これは、IBA テクニカルおよび競技規則。

そのため、最新の IBA 規則についてレフリーとジャッジを更新する目的で、このバージョンの R&J マニュアルを作成しました。このマニュアルの内容は決定的なものとは見なされるべきではないことに注意してください。むしろ、スポーツにおける進行中の変化と新たな革新の基準点と見なされるべきです。私たちの心は、新しいアイデアに対して閉ざされてはなりません。ルールの変更は、ボクサーと役員との条件の改善につながり、観客に提供するエンターテインメントのレベルを実際に高める可能性があります。

このマニュアルの目的は、新規および現在の R&J が詳細で精査された手順の参照点として使用することを奨励することです。このマニュアルは、ルールの単純なリストとは対照的に、特定の状況に対処するための正しい手順と、そのような苦境で R&J に期待されることを明確に概説しているため、R&J にとって頼りになるエントリーポイントです。

有能な R&J チームの一員になるための基準には、幅広いスキルと興味が含まれますが、適切な程度の体力、絶対的な誠実さ、誠実さ、ボクシングへの情熱は、すべてのオフィシャルの資格の不可欠な要素と見なされます。スポーツに対する誠実な情熱と優れた倫理は、当然のことながら、国籍や信条の境界を越えて乗り越え、勝者やチャンピオンを決定する際の偏見をなくすと信じています。

私たちの R&J は、ボクシングの生命線を構成する IBA の構成の不可欠な部分です。あなたが下す一瞬の行動と知識に基づいた決定が、スポーツの心臓部が鼓動するリズムを設定します。ボクシングはこのようにユニークであり、このため、ボクサーが示す献身と一致する高レベルの審判を期待し、要求しています。

したがって、私たちは、この学習プロセスをあらゆる方法で支援することが最も重要であると考えています。それが、R&J のための明確なガイドラインと手順を完備したこの包括的で首尾一貫したマニュアルを作成する動機です。私たちの公式からの認識。

私たちの目標は、リングで IBA のこの重要な拡張を代表する人々を指導し、訓練し、教育し、信頼を置くことであり、正しい教育とメンタリングを通じて、この目標は現実のものとなります。

あなたのスポーツ、

IBA 開発部

IBA Referee and Judge Regulations

第2章 - R&J の管理

目次

第1章 :IBAの紹介

1.1.	全体的な IBA 組織	5
1.2.	R&Jマネジメントのマネジメント体制	5
1.3.	IBAボクシングの紹介	6
1.4.	R&J用データベース	6

第2章 :R&J マネジメント

2.1.	競争のためのR&Jアポイントメント管理	8
2.2.	R&J 競争管理	8
2.3.	R&J評価制度	9
2.4.	ドレスコード	9
2.5.	金融取引条件	10
2.6.	R&Jロジスティクス	10

第3章: レフェリー

3.1.	試合前の準備	13
3.2.	試合前の指示	13
3.3.	動き	14
3.4.	ポジショニング	15
3.5.	注意と警告	16
3.6.	ファウル	17
3.7.	ノックダウン	18
3.7.1.	ボクサーがファウルブローでダウン	20
3.8.	壊す	21
3.9.	内紛	21
3.10.	けが	22
3.11.	カット	22

第4章: 審査員

4.1.	採点システム	25
4.1.1.	スコアリングパッド	25
4.1.2.	スコアカード	26
4.2.	ポイントの付与	26

第5章 :手順

5.1.	試合前の義務	29
5.2.	試合を開始するには	29

IBA Referee and Judge Regulations

5.3.	ボクサーに話しかける	29
5.4.	警告を発するには	30
5.5.	警告を発行するには	30
5.6.	失格を発行するには	31
5.7.	コマンドタイム	31
5.8.	ガムシールドが出たら	32
5.9.	ベルの後に犯されたファウル	32
5.10.	審査員への相談	32
5.11.	8 カウントを管理するには	33
5.12.	カット	34
5.13.	放棄/レフェリーストップコンテスト	35
5.14.	休止直前・休止中の手続き	36
5.15.	採点機の故障	37
5.16.	試合後の任務	38
付録I	倫理	39
付録II	IBA役員の誓い	40
付録III	行動規範	41
付録IV	ファウル イラスト ピクトグラム	43

第1章 - IBA の紹介



IBA Referee and Judge Regulations

1. 1. 全体的な IBA 組織



1. 2. R&Jのマネジメント体制 管理



IBA Referee and Judge Regulations

第2章 - R&Jの管理

第1章 - IBAの紹介

1.3。 IBAボクシングの紹介

IBAボクシング

スポーツで重要なキャリアを積みたいボクサーにとって、IBAの最初のステップはIBAボクシング大会から始まります。

これらの大会はIBAボクシングとして定義され、IBA世界ボクシング選手権を含むIBA大会のいずれかで自国を代表することを希望するすべてのボクサーに門戸を開きます。

IBAボクシングは、オリンピック、ユースオリンピック、

大陸競技大会（全アフリカ競技大会、アジア競技大会、パンアメリカン競技大会、欧州競技大会）、コモンウェルス競技大会、

地中海ゲームなど。

1.4。 R&JS用データベース

IBA HQ オフィスは、R&Jのすべての記録をIBAデータベースを通じて、参加、評価、および個人情報とともに維持します。

個人情報と業績評価を除き、すべての情報はIBAを通じて公開されます。

データベース、およびこの情報には次が含まれます。

- 医療証明書
- R&J審判のビデオ

第2章 - R&J の管理



IBA Referee and Judge Regulations

第2章 - R&Jの管理

2.1. R&Jアポイントメントマネジメント 競争

認定 R&J は、次のように職務を遂行することが許可されています。

- 1 つ星の R&J: IBA エリート全国大会、デュアル マッチ、1 つ星大会
- 2 スター R&J: IBA エリート国内大会、IBA 大陸大会 (エリート大陸選手権を除く)
- 3 つ星の R&J: すべての IBA 大会

IBA 大会は、ボクサーの数と参加国の数、およびボクサーのレベルに応じて、3 つのレベル (1 スター、2 スター、3 スター大会) に分けられます。競技レベルの詳細については、IBA テクニカルおよび競技規則の付録 A を参照してください。

IBA コンペティションでは、IBA R&J 委員会が R&J の任命を管理する責任を負うものとします。

連盟のすべての競技会について、各国連盟は R&J の名前を送付し、連盟の R&J 委員会は、イベントに参加する彼らの任命を選択し、確認します。すべての情報は、イベントの前に IBA 開発部門に送信され、審査と選択の最終確認が行われます。

各大会の R&J の数:

- IBA のすべての大会で、IBA は各国の空席状況に基づいて R&J を割り当てます。役員の数、最も適切な経験に基づいて任命されます

各連盟大会への参加資格の確認:

- すべてのコンフェデレーション大会について、コンフェデレーションは登録された R&J を各国内連盟から IBA HQ のオフィスは、コンテストの開始前に、R&J がコンテストに参加する資格があるかどうかの最終確認を受け取ります。

2.2. R&Jの競争管理

R&J ミーティング / 評価:

- 毎日、IBA 競技会では、前日のコンテスト シートを R&J ミーティングの開始前に表示する必要があります。R&J は、コンテスト シートをその場所から持ち出せてはなりません。
- R&J ミーティングは、以下によって実施されなければなりません。
 - IBA - レフリー/ジャッジ評価者
 - 技術代表;必要に応じて、ただし毎日必須ではない
- いかなる状況においても、技術代表は、R&J 記録簿を支持して、その場でのパフォーマンスについて意見を述べることはありません。競争。技術代表は、各 R&J が担当する試合数を指定する必要があります。

IBA Referee and Judge Regulations

第2章 - R&J の管理

R&J ラウンジ:

- IBA 競技会では、現役の R&J、技術代表、副技術代表、審判評価者、R&J のみ
コーディネーターと IBA スタッフは R&J ラウンジを利用できます
- R&J ラウンジは、FOP と同じレベル/フロアにできるだけ近く配置する必要があります。
- R&J ラウンジでは、ケータリング、ドリンク、ハウスキーピングの国際基準を適切に手配する必要があります。
- 技術代表は、競技会のための R&J ラウンジの条件と場所を承認する権限を持っています。
- IBA では、R&J オブザーバー/評価者がラウンジおよび/または会議室でセッション前のブリーフィングを行います。

ホテルの宿泊設備:

- R&J のホテルは、代表団のホテルとは別でなければなりません。IBA ファミリーおよび ITO と同じにすることができます。依存
LOCの取り決めについて

認定 - アクセスゾーンの定義:

- R&J は、トーナメント認定プロセスを介してのみ FOP と R&J ラウンジにアクセスできる必要があります。

2.3. R&J評価

IBA:

- リングごとに 1 人のレフリー評価者が各競技に割り当てられます。彼らの役割は、競技中にレフリーを評価し、評価スコアを計算し、必要に応じて即座に
フィードバックを提供することです (試合レビューに関連する情報を含めるため)。
- リングごとに 1 人のジャッジ評価者が、すべての競技会に割り当てられます。彼らの役割は、試合を採点し、ラウンド/試合ごとに各ジャッジの結果を評価し、
評価スコアを計算することです (試合レビューに関連する情報を含めるため)。

2.4. ドレスコード

競技会場:

- レフリーは、レフリーおよびジャッジ用の公式 IBA の服装のみを着用する必要があります。
- 審判は審判を行う際に手術用手袋を着用することが義務付けられています (審判とボクサーの両方の安全のため)。
- レフェリーは、宝石類 (滑らかな結婚指輪を除く) やその他のアクセサリを着用することはできません。
認定リストバンドは許可される場合がありますが、鋭利な部分があってはなりません

競技会場外

- 国を代表する服装は避けるべきです。

IBA Referee and Judge Regulations

第 2 章 - R&J の管理

2.5. 金銭的条件

IBA が R&J 費用を負担する場合は常に、以下が補償されます。

- 完全な空の旅費
- 宿泊/食事
- ビザ手数料
- 日当

IBA イベントの日当は、1 日あたりの一定額となります。この日当には、R&J の到着日と出発日が含まれます。

組織がカバーする IBA 大会:

- オリンピック予選大会
- 世界選手権

R&J 認定コースは、IBA によって部分的に助成されます。招待状に別段の記載がない限り、すべての旅費と宿泊費は個人または国内連盟が負担しなければならない。

2.6. R&Jロジスティクス

- イベントの予約通知書を受け取ったら、R&J は指定された時間枠内に応答する必要があります。
- 締め切りを指定せずに何らかの種類の通信が送信された場合、R&J は 24 日以内にこれに応答することが期待されます。
(24時間)
- R&J は、面談の際に、渡航国へのビザが必要かどうか、自国にこのビザを取得できる大使館があるかどうかについて言及する必要があります。R&J がその国に入国するためのビザをすでに持っている場合は、任命書への返信にその旨を記載する必要があります。
- ビザ申請のために招待状が必要な場合、R&J は IBA にこの手紙を提供するよう依頼する必要があります。
- シェンゲンビザを持つ R&J は、IBA データベースのプロファイルをこれらの詳細でできるだけ早く更新する必要があります。
- R&J がアポイントメントレターおよび/または特定の日付の空き状況を確認した時点で、R&J の管理の及ばない特別な状況がない限り、コミットメントのキャンセルや撤回は行われるべきではありません。いずれにせよ、R&J は、発生する可能性のある金銭的損失をカバーする責任を負う場合があります。
- R&J は自分のパスポートをチェックし、少なくとも 1 年間有効であることを確認する必要があります。パスポートの有効期限が 1 年以内に切れる場合、R&J は直ちに IBA HQ オフィスに通知し、パスポートを更新するための適切な措置を講じる必要があります。
- 1 人が複数のパスポートを保持できる国に住んでいる場合は、2 つ目のパスポートを取得することをお勧めします。
パスポートを取得し、スキャンしたコピーを IBA データベース プロファイルにアップロードする
- R&J が複数のパスポートを保持している場合、フライトの予約に使用するパスポートを示す必要があります。
- 航空会社の旅程を受け取ったら、R&J は国を通過するために必要なビザが必要な場合は、乗り継ぎ便に必要なビザが整っていることを確認する必要があります。

2.6. R&Jロジスティクスの続き...

- R&J は e チケットを受け取ります。これを印刷して、旅行日に空港に持参してください。チケット情報
フライトの日付と時刻を見逃さないように、注意深くお読みください。

IBA Referee and Judge Regulations

第2章 - R&J の管理

- ・ R&J は、積極的なフォローアップとロジスティクスに関する IBA HQ オフィスとの連絡に責任を負います。メールとボイスメールは常に通信を確認する必要があり、メッセージがない場合は、IBA HQ オフィスへのフォローアップが必要です。

すべてのロジスティクス通信には、次のアドレスを使用してください。

- ・ IBA - development@iba.sport

第3章 - レフェリー



IBA Referee and Judge Regulations

第3章 - レフェリー

3.1. 試合前の準備

レフェリーは心の準備ができていなければならない必要があります。

- 目の前のタスクに集中することによって
- 個人的な問題を無視する
- 否定的なことを頭の中から一掃することによって
- 集中し、落ち着いて、バランスを保つことによって

レフェリーは以下のように身体的に準備を整える必要があります。

- ウォーミングアップ、ストレッチ、リフレッシュ

レフェリーは、割り当てられた試合の準備ができていなければならない必要があります。

- リングに入る前に手術用手袋を着用する
- ガーゼパッドを入手する
- ユニフォームをチェックして、アイロンがけされ、清潔で整頓されていることを確認します。

レフェリーは、リングの周りの位置を特定する必要があります。

- 鳴っているデバイスを知ることによって (2つの呼び出し音の場合)
- 決定が発表されたときにカメラの方を向くために、メインカメラの位置を知ることによって。
- 技術代表/副技術代表、ジャッジ、タイムキーパー、リングサイドドクターの位置を特定することによって

3.2. 試合前の指示

試合前の指示は、リングの中央で両方のボクサーに同時に与えられる必要があります。

試合前の指示は短く、要点を明確にする必要があります。

- 頭を下げる- 頭を指差して「頭を上げて」と言います。
- ホールドリング- ホールドリング信号を示し、「ノー ホールドリング」と言います。
- ベルトライン- ベルトラインを指さして、正当な打撃「ノー ロー ブロー」であることを示します。
- コマンド- 耳を指差して、「ストップ」、「ブレイク」、「タイム」と発声します。
- そして- 「常に自分を守る」こと

IBA Referee and Judge Regulations

第3章 - レフェリー

3.3.動き

- レフェリーは常にスムーズにリラックスして歩く必要があります。
- レフェリーは常に冷静さを伝えなければならない
- レフェリーは常に歩いて、目的の位置に到達するために走る必要はありません。
- レフェリーは後ろ向きに歩くことを避けるべきです。
- ボクサーが時計回りに動くとき、レフェリーは反対方向に動き、常に「V」の位置を維持する必要があります。
- レフェリーは、注意、「停止」または「ブレイク」の後、ボクサーの間に決して入ってはなりません。
- レフェリーはリラックスした手を下ろして動くべきです



IBA Referee and Judge Regulations

第3章 - レフェリー

3.4. ポジショニング

試合中

- レフェリーは、常に「V」ポジションを維持しようとし、次の図は、トレーニング中に努力する位置を示しています。
マッチ
- レフェリーは、左利き対右利きの審判をするとき、できるだけオープンサイドにとどまるべきです。
- アクションからの審判の距離は、ボクサーの距離によって決まります。
- 下の図は、2人のボクサーが互いに長い距離を保っていることを示しています。
この状況でのボクサーからの距離



- 下の図は、2人のボクサーが互いに中距離にいることを示しています。

ボクサー



- 下の図は、2人のボクサーが近くにいる様子を示しています
レフェリーはボクサーとの距離を縮める必要がある



- レフェリーが**絶対**に立ちほだかってはならないポジション:

- ボクサーの後ろ
- コーナーで
- ロープに対して
- ボクサーに近すぎる、またはボクサーから遠すぎる (審判は試合に応じて距離を調整する必要があります)
- 片方または両方のボクサーに背を向ける

IBA Referee and Judge Regulations

第3章 - レフェリー

3.5. 注意と警告

注意は、それほど深刻でない違反に対するアドバイスまたは警告です。

ボクサーが規則に違反しているが、失格を保証していない場合、警告が与えられます。

警告の前に与えられる警告の数は、レフェリーの裁量に任されています。

ラウンド間の1分間の休憩時間中は、注意を払うべきではありません。

ベルが鳴った後にファウルが発生し、警告に値する場合、レフェリーは次のラウンドの開始まで待機する必要があります。

警告の後、ボクサーはレフェリーの裁量で同じ反則に対して警告を受けることができます。3番目の警告は、自動的に失格となります。マイナーファウルの場合、試合を止めることなく警告を与えることができます。

重大なファウルが続く場合、レフェリーは「ストップ」を命じて警告を発する必要があります。

目に余るファウルの場合、レフェリーは「ストップ」を命じ、強い注意または警告を与えるべきであり、他に選択肢がない場合、そのボクサーは失格となります。

注意と警告は、ボクサーとジャッジ、技術代表が違反を理解できるような方法で明確に与えられなければならない。レフェリーは、反則に適した手信号を与えることによってこれを実証する必要があります。

警告を発するには、TIMEではなく「Stop」というコマンドを実行して、試合を停止する必要があります。気分を害したボクサーはニュートラルコーナーに送られるべきです。違反したボクサーに違反を明確に示し、それを技術代表に示すことにより、違反者に警告を与える必要があります（親指で示されます）。最後に、コマンド「Box」を指定する必要があります。

反則者が警告を明確に理解していることをレフェリーが確信した後にのみ、「ボックス」という合図を出す必要があります。

ボクサーは、事前の警告の有無にかかわらず失格となる場合があります。

レフェリーが違反者を失格とする場合、レフェリーは最初に違反を犯したボクサーに違反について警告しなければならず、この行動はできるだけ明確にしなければならない。失格による試合の終了時に、レフェリーは試合の終了を合図し（RSCまたはRSC (I)によって試合の終了を合図するのと同じ方法で）、ジェスチャーで示すために両方のボクサーをそれぞれのコーナーに送る必要があります。手袋を脱ぐ秒まで。レフェリーは、失格となったボクサーのコーナーに同行してはならない。誰がどのような理由で失格となるかについての決定は、技術代表に与えられるべきです。

IBA Referee and Judge Regulations

第3章 - レフェリー

3.6. ファウル

ファウルには3つのタイプがあります。マイナー、メジャー、フラグラントの基準に基づいて、注意または警告/失格が問題になる可能性があります。

一般的なマイナーファウルは次のとおりです。

- 頭は低いが危険ではない
- わずかな保持、アドバンテージを引き起こさない
- アドバンテージをもたらさないわずかなプッシュ
- コマンド「Break」を踏まない
- 相手のつま先を踏む

マイナーファウルの場合、手信号や口頭での指示を使用して、試合を止めることなく警告を与える必要があります。

一般的なメジャーファウル:

- | | |
|--|----------------------|
| • ロープロー | • 平手打ち |
| • 開催 | • 持って叩く |
| • 頭の後ろで打つ | • 低頭 |
| • 後ろから殴る | • パッシブディフェンス |
| • 押す 重大な
ファウルの場合、主審は「停止」を命じ、少なくとも「強い注意」を発する必要がある、「警告」を発することもできます。 | • ガムシールドが脱落またはノックアウト |

一般的な目に余るファウル:

- | | |
|---------------------------------|-----------------|
| • 頭突き | • 頭の後ろを打つ (意図的) |
| • レーシング | • 後ろから叩く (意図的) |
| • 相手をキャンバスに叩きつける | • 肘で打つ |
| • 一歩も退かずに相手を攻撃する。
コマンド「ブレイク」 | • 肩で打つ |
| • 対戦相手がダウンしている間に打つ・噛む・ベルの後に打つ | • ガムシールドを吐き出す |

目に余るファウルの場合、レフェリーは「ストップ」を命じ、「強い注意」または「警告」を与え、他に選択肢がない場合は、そのボクサーを失格とします。目に余るファウルの2回目の発生は、自動的に警告されるべきです。

レフェリーは、不必要な中断、警告、失格などを引き起こさずに試合をコントロールするために経験を使用するものとします。リストされたファウルはすべてを網羅しているわけではなく、ほんの数例です。

レフェリーが目に見えない反則が犯されたと信じる何らかの理由がある場合、レフェリーはジャッジに相談することができます。

IBA Referee and Judge Regulations

第3章 - レフェリー

3.7. ノックダウン

ダウンの定義

ボクサーは、次の場合、正当な打撃によりノックダウンされたと見なされます。

- ボクサーが、打撃または一連の打撃の結果として、ボクサーの足以外の体の一部で床に触れた。
- ボクサーが一撃または一連の打撃の結果、無力にロープにぶら下がっている。
- ボクサーが打撃または一連の打撃の結果、ロープの外側または部分的に外側にいる。
- 強いパンチの後、ボクサーは倒れておらず、ロープの上に横たわっていませんが、半意識状態にあり、できません。
レフェリーの意見、試合続行

ノックダウン後のカウント

ノックダウンの場合、レフェリーは親指を上げてカウントを開始することを示すために「停止」を命じ、次に：

- カウントされていないボクサーをニュートラル コーナーに送り、1秒経過させます。
- ボクサーが続行できる場合は、1秒間隔で1から8まで数え始めます。
- ボクサーが継続できない場合は、1から10まで数え始めます。
必ずしも8または10までカウントする必要はありません。レフェリーは、ボクサーが損傷していると判断した場合、カウント中いつでもカウントを停止して試合を中止し、ダウンしたボクサーの診察をすぐにリングサイド ドクターに依頼することができます。

レフェリーは数字の間を1秒間隔でカウントし、1秒ごとに針で示します。
倒されたボクサーはカウントを意識しているかもしれません。

「一」の数がカウントされる前に、ボクサーがノックダウンされてから「一」が発表された時点から1秒の間隔が経過している必要があります。

カウントの過程で、レフェリーの手はボクサーの前で腕を伸ばした距離にある必要があります。ボクサーは常にレフェリーのカウントを完全に把握していなければなりません。

カウントするとき、レフェリーは、「ダウン」しているボクサーに完全に集中しながら、ニュートラル コーナーにいるボクサーが見えるように自分の角度を調整する必要があります。レフェリーの優先事項は、カウントされているボクサーに常に十分な注意を払うことです。

対戦相手の責任

ボクサーがノックダウンされた場合、ボクサーの対戦相手は、レフェリーが指定したニュートラル コーナーにすぐに移動し、レフェリーがボクサーの立ち退きを許可するまでそこに留まらなければなりません。

対戦相手がこれを守らない場合、審判は対戦相手が命令に従うまでカウントを中断しなければならない。

必須の8カウント

ボクサーが打撃の結果としてノックダウンされた場合、ボクサーがそれより前に続行する準備ができていた場合、またはラウンドが終了した場合でも、レフェリーが必須の8カウントに達するまで試合を続行してはなりません。

ボクサーがリングからノックアウト

ボクサーが正当な打撃によってリングから追い出された場合、ボクサーは8カウントの後、誰の助けも借りずに30秒間リングに戻ることを許されなければならない。ボクサーが上記の時間内に復帰できない場合、そのボクサーはRSCによって試合に負けたと見なされます。

IBA Referee and Judge Regulations

第3章 - レフェリー

- レフェリーは、ボクサーがリングから出るとすぐにカウント (8 カウント) を開始します。
 - ボクサーが 8 カウント後もリングから出ていない場合、レフェリーはタイムキーパーにスタートの合図を出さなければなりません。
30 秒の時計
 - 20 秒が経過した後、タイムキーパーは 10 秒のカウントを開始し、1 秒ごとの合図を出します。
- ボクサーが自己都合によりリングを離れ、上記の時間内に復帰しなかった場合、そのボクサーは RSC によって試合に負けたものとみなされます。

- レフェリーは、タイムキーパーに 30 秒間計時を開始するように「時間」の合図を出します。
- 20 秒が経過すると、タイムキーパーは 1 秒ごとの合図で 10 秒のカウントを開始します。

リングから押し出されるボクサー

- 8 カウントは必要ありません
- レフェリーは「時間」を命じます。
- タイムキーパーは 60 秒のカウントを開始する必要があります。
- ボクサーがリングに入ることができない、またはリングに入るが継続するのにふさわしくない場合、レフェリーはリングサイドに尋ねます。
ボクサーを診察する医師
 - リングサイドの医師がボクサーが続けるのにふさわしくないと宣言した場合、ボクサーの対戦相手は負けです
失格
 - リングサイドの医師がボクサーが継続するのに適していると宣言した場合、レフェリーはボクサーに警告を發します。
ボクサーを攻撃した後、ボクシングを再開する

ノックアウト

レフェリーが「10」と言った後、試合は終了し、KO と判定されなければなりません。

レフェリーは、そのボクサーがすぐに医師の診察を受ける必要があると判断した場合、カウントを停止することができます。この場合も KO と見なされます。

ボクサーがラウンド終了時にノックダウン

ラウンド終了時にボクサーが倒された場合、ラウンドの終了に関係なく、ボクサーが倒されなくなるまでレフェリーは数え続けなければなりません。

レフェリーのカウントが 10 になった場合、そのボクサーは KO により試合に負けたと見なされます。ゴングはボクサーを救いません。

追加のパンチなしで 2 回目のノックダウン

ボクサーがパンチの結果としてノックダウンされ、8 カウントに達した後に試合が継続されたが、ボクサーがさらにパンチを受けずに再び倒れた場合、レフェリーは 8 カウントからカウントを続けることができる(8)-最大 10 まで数えるか、すぐに試合を止めることができます。

IBA Referee and Judge Regulations

第3章 - レフェリー

3.7.1 ファウルブローによるボクサーのダウン

レフェリーが打撃を見た場合

ローブロー後

• 気分を害したボクサーが文句を言わず、ローブローが強く故意ではなかった場合、レフェリーは試合を中断することなくファウルの合図をしなければならない

• 気分を害したボクサーがローブローの激しさについて不平を言った場合、レフェリーには2つの選択肢があります。

- 故意で強い打撃を与えた場合、違反したボクサーは即座に失格となります

- 8 カウントを開始します

注: エイト (8) カウントが完了していない限り、レフェリーは、エイト (8) カウントを開始した後でも、反則を犯したボクサーを失格にするオプションを利用できます。言い換えれば、レフェリーはエイト (8) カウントを停止し、違反したボクサーを失格にすることができます。

ただし、レフェリーが8 カウントを完了したら、レフェリーは手順の次の2つのオプションに進む必要があります。

• エイト (8) カウントの後、レフェリーには (2) の選択肢があります。

- ボクサーは続行するのに適している: レフェリーが必要と判断した場合、レフェリーは違反者に警告を与えることができる。
試合は続く

- ボクサーは続けるのにふさわしくありません: レフェリーはボクサーに一定の時間を与えて回復を試みます。
最大 90 秒まで

- タイムキーパーが 30 秒、60 秒、90 秒を合図します

• 上記の時間枠の後、レフェリーには2つの選択肢があります。

- ボクサーは続行するのに適しています: レフェリーは違反者に警告を与えることができ、試合は続行されます

- ボクサーは続行するのに不適格です: 対戦相手は RSC-I によって試合の勝者と宣言されます

その他のファウルブロー

反則による 8 カウントは、コンパルソリー カウント リミットにはなりません。

8 カウントの後、レフェリーは反則を犯したボクサーに反則の明確な合図を出して、カウントがファウルによるものであることを明らかにしなければなりません。

レフェリーが打撃を見なかった場合

• 5.9.1 ジャッジへの相談に記載されている手順を参照してください。

IBA Referee and Judge Regulations

第3章 - レフェリー

3.8. 壊す

コマンド「ブレイク」は、両方のボクサーが長時間保持している場合に使用する必要があります。

コマンド「Break」の後：

•レフェリーは言葉による指示を使用する必要があります。

- ボクサーがまだ壊れていない場合、レフェリーは物理的に両方のボクサーを同時にタップ、タッチ、および/または分離することができます。
腕の長さ
- レフェリーは、ボクサーを押したりつかんだりしないように注意する必要があります
- ロープやコーナーでボクサーを崩す場合、ボクサーをリング中央に寄せる必要はない
- ボクサーがロープや隅にいて、きれいに内戦している場合、ボクサーをブレイクする必要はありません
- ファウルは、常に「ブレイク」を命令するのではなく、注意と警告によって対処する必要があります。
- レフェリーは、ボクシングを再開する前に、両方のボクサーが一歩後退することを主張しなければならない
- ボクサーの片方の手が空いている場合、クリンチはありません。したがって、「Break」をコールする必要はありません。
- レフェリーは、「ブレイク」を命じた後、決してボクサーの間に入ってはならない

3.9. 戦い

レフェリーは「インファイト」と「クリンチング」を区別しなければなりません。一方または両方のボクサーがリードし、腕が一瞬ロックされると、クリンチが発生します。これは違反ではありません。

ボクサーがクリンチから離れようとせず、保持し続けると、オフenseが発生します。
さらに、ボクサーの1人がクリンチを継続的かつ瞬間的に戦術として使用すると、攻撃が悪化します。

クリンチが「厄介」になり、怪我や重大なファウルの可能性がある場合、レフェリーは直ちに「ストップ」をコールする必要があります。厄介なクリンチでは、ボクサーの1人が無防備な位置にいます。

(いくつかの「ぎこちないクリンチ」の例については、ピクトグラムのセクションを参照してください)。

正しいインファイトとは、ボクサーが相手に寄りかかることなく自分の足で安定してバランスを取り、前に倒れずにいつでも直立姿勢をとることができることです。

IBA Referee and Judge Regulations

第3章 - レフェリー

3.10. 負傷またはノックダウン

レフェリーは、けが、無打撃または意図しない反則の結果に気付いた場合、スタンディング 8 カウントを開始するものとする。

8 カウントの後、レフェリーはボクサーが続行するのに適しているかどうかを検討し、ボクサーが続行できない場合、レフェリーはボクサーをリングサイドの医師に連れて行くものとする。

レフェリーは、負傷が次の原因によるものかどうかに基づいて決定を下すものとします。

- ファウル
- 事故
- シミュレーション
- 法的な打撃

ボクサーがパンチなしで倒れるのを見た場合、レフェリーはボクサーが痛みを感じているかどうか (そしてそれを示しているかどうか) をすぐに判断し、「時間」を命じるべきです。ボクサーが痛みを示さない場合は、8 カウントから始めます。

レフェリーが「時間」を命じた場合は、ボクサーをドクターのところへ連れて行くか、ドクターをボクサーのところへ連れて行きます。医師がボクサーが続行できないと判断した場合、レフェリーは試合を中止し、決定は RSC-I となります。

レフェリーが 8 カウント (ローブロー) を開始した場合は、続行し、ローブローの手順に従う。レフェリーが 8 カウント (リーガル ブロー) を開始した場合、ボクサーがダウンしている限り続けます。

3.11. カット

レフェリーは、出血に気づいたら、「時間」というコマンドを与え、怪我の重症度に応じてボクサーをリングサイドの医師に連れて行くことを検討します。

レフェリーは負傷部位自体に触れてはならない。

負傷部位からの出血が続く場合、レフェリーはリングサイドの医師に相談します。リングサイドの医師は、ボクサーが続行するのに適しているかどうかをレフェリーに通知します。このため、医師は続行できる場合は「BOX」、そうでない場合は「STOP」という言葉を使用します。

顔面の切り傷が深刻でない場合、レフェリーは試合を止めず、試合の続行を許可し、次のような場合に行動します。
ひどい。

• 顔面の傷がひどい場合、審判はボクサーをリングサイドの医師のところへ連れて行き、直ちに医師に知らせます。

怪我の原因の監督者：

- 偶発的な頭部衝突

- 法的な打撃

ボクサーが頭突きや違法な打撃を受けて怪我や切り傷を負った場合、レフェリーは違反したボクサーを失格にしなければなりません。

• レフェリーは試合を止め、攻撃したボクサーをニュートラル コーナーに送り、負傷したボクサーの治療のために医師に電話し (アドバイスではなく)、問題のあるボクサーをリングの中央に連れて行き、問題のあるボクサーに意図的な頭突きであったことを警告し、警告を示します。DTD を実行し、違反したボクサーを失格にします。

IBA Referee and Judge Regulations

第3章 - レフェリー

3.11.カット続き…

レフェリーがボクサーをリングサイドの医師のところ連れて行くかどうか迷っている場合、安全が第一の目標であるため、レフェリーはとにかくボクサーをリングサイドの医師のところ連れて行くべきです。

IBA テクニカル ルール 19.7.1。ボクサーが、レフェリーの意見で、正しいパンチによる負傷の持続または増加のために継続するのにふさわしくないと述べた場合、試合は中止され、対戦相手は RSC-I によって試合の勝者と宣言されます。

たとえば、最初のラウンドで両方のボクサーが頭をぶつけ (意図しないファウル/偶発的な頭の衝突)、ボクサー A がカットを維持した場合。試合は続行できますが、正しい打撃のためにカットが悪化し、医師によって試合が中止されます。勝者は、ラウンドに関係なく、RSC-I のボクサー B です。

第 4 章 - 審查員



IBA Referee and Judge Regulations

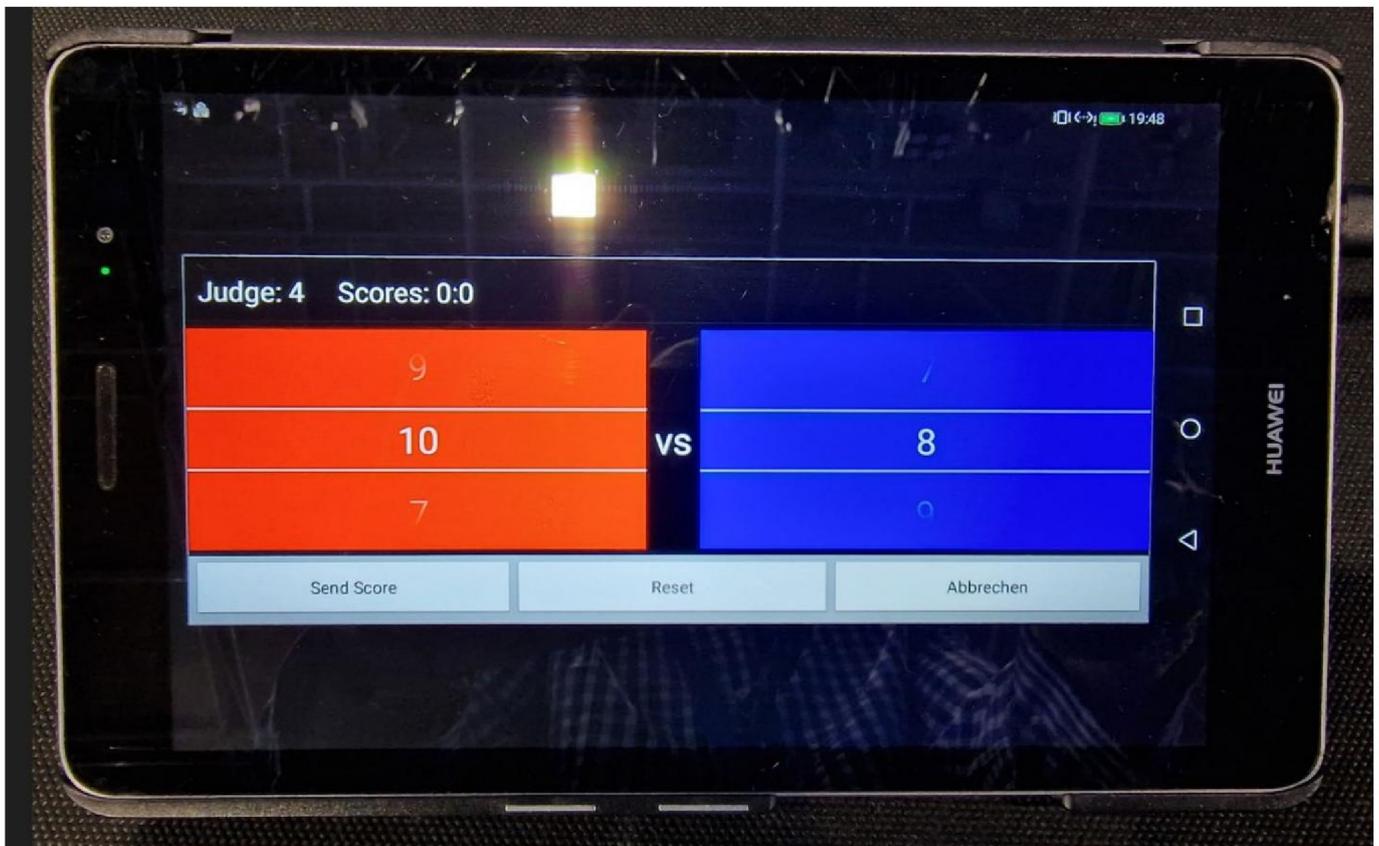
第4章 - 審査員

4.1.採点システム

採点システムは、10ポイントの必須システムに基づいています。

各ラウンドの終わりに、各ジャッジは、10ポイントのスコアを与え、負けたボクサーには9ポイント以下(7まで)を与えることによって、そのラウンドの勝者ボクサーを決定しなければなりません。対戦相手がラウンドに負けた程度に関する判断。すべてのラウンドには勝者が宣言されている必要があります。審査員は、採点基準に従って、結果を正しく反映する採点システムを適用することに自信を持っている必要があります。

4.1.1 スコアリングパッド



IBA Referee and Judge Regulations

第4章 - 審査員

4.1.2 スコアカード

 INTERNATIONAL BOXING ASSOCIATION JUDGE SCORE CARD			
DATE		COMPETITION	
BOUT NUMBER			
		JUDGE NUMBER	
JUDGE NAME		Judge NOC Code	
RED NOC Code: Round Score		BLUE NOC Code: Round Number Round Score	
<i>In case of a Tie, ni preference is (to be fixed at the end of the bout noly):</i>			
WINNER:			
SIGNATURE OF THE JUDGE:			

スコアカード

採点システムが故障したり利用できない場合は、採点カードが各審査員のテーブルに置かれます。各スコアカードには1ラウンドが記録されます。

次の情報を入力する必要があります。

- 日付
- 試合番号
- ジャッジの名前、番号、国内オリンピックコード (NOC)
- 各ボクサーのNOC
- ラウンドでのボクサーのスコア
- 試合の勝者をマークする必要があります (最後のラウンドの最後にのみ埋められます)。
- 署名
- ジャッジは、ラウンドごとにスコアカードをレフリーに提出します。

•ジャッジは常に明確に書く必要があります

4.2 ポイントの付与

各ジャッジは、次の基準を使用して、2人のボクサーのメリットを個別に採点するものとします。

ターゲットエリアへの質の高い打撃の数

- 打撃は法的な打撃基準を満たさなければならない
- これらの打撃の量と質を考慮する必要があります。
- 打撃の数と同じ場合、打撃の質によってラウンドの勝者が決まる
 - 例: 10回のジャブと10回のパワーパンチは、20回のジャブよりも有利です。
- 打撃の量が等しくない場合、打撃の質によってラウンドの勝者が決まる可能性があります。
 - 例: 7回のジャブと7回のパワーパンチは、16回のジャブよりも有利です。

試合の支配

- 攻撃と防御の組み合わせで試合をコントロールしているボクサー
- 「効果的な攻撃者」であるボクサー
- 常に前に出て攻撃しているボクサーは、必ずしも「効果的なアグレッサー」ではありません。
- 攻撃と防御のコンビネーションで試合をコントロールするボクサーは、カウンターを防御しながらクリーンに得点します
パンチング
- アクションを強制し、試合のテンポを設定するボクサー

IBA Referee and Judge Regulations

第4章 - 審査員

4.2 ポイントの付与 続き...

競争力

- 試合全体を通して一貫して勝利を目指しているボクサー
- 競争して勝ちたいという強い欲求を継続的に示しているボクサー
- 勝利への主導権を継続的に示すボクサー
- 試合を克服して勝とうとする劣悪なボクサー

技術的および戦術的な例

- 対戦相手をミスさせ、パンチに対して無防備にするボクサー
- ボクサーが効果的なカウンター ジャブを投げて相手を遠ざける
- リング内の位置とアクションのベースを設定するボクサー (例 - 横方向の動き)
- ボクサーのスタイルやタイプを中和する: スラッガー vs ボクサー、サウスポー vs オーソドックス、リングを切り落とす、対戦相手を追い詰める等...
- ブロック、スリップ、ウィービング、受け流し、優れたフットワークにより、相手のクリーン ヒットをうまく回避する
- ランニングとホールドは自衛の戦術であり、ボクシング ディフェンスではないことを忘れないでください。
- ホールディングは、優れたボクサーの戦術とルール違反を妨げる抑止力です。
- 対戦相手をプッシュすることも戦術の1つですが、これもファウルです。
- ボディパンチ: 戦術であり、投げるにはテクニックが必要です

ジャッジは、より良いパフォーマンスをしたボクサーには 10 点、もう一方のボクサーには 9 点以下のスコアを与えることができます。

- 10 : 9 - クローズラウンド
- 10 : 8 - クリア勝者
- 10 : 7 - 完全な優位性

10 : 9ラウンド

- 両方のボクサーがほとんどの条件で均等に一致する場合
- クローズラウンド

10 : 8ラウンド

- 質の高い打撃の得点数に大きな差があるため、明確な勝者が存在します。
- クオリティ ブローの得点数の差が小さい明確な勝者が存在しますが、カウントが含まれる場合があります。

10 : 7ラウンド

- すべての基準において、一方のボクサーがもう一方のボクサーよりも完全に優勢です
- 得点された質の高い打撃の数に大きな差があり、カウントが含まれる場合があるため、明確な勝者が存在します。

これらの採点基準は IBA 大会に適用されます。

第 5 章 - 手順



IBA Referee and Judge Regulations

第5章 - 手順

5.1 試合前の義務

レフェリーは：

- 手術用手袋の着用は必須です。
 - リングに入る前にグローブを着用する必要があります
- ポケットにガーゼが入っていることを確認してください
- レフェリーは技術代表のテーブルの前のニュートラル コーナー（ラウンド間の休憩中の彼の位置）に立って、両方のボクサーの前にリングに入り、最後にリングから出なければなりません。
- 彼/彼女がセッションの最初のレフェリーである場合、彼/彼女はリングを検査する必要があります
 - その後、他のすべてのレフェリーは、リングの迅速な検査を行うものとします。
- 両方のボクサーにリングに入るように依頼します。1つまたは両方のボクサーが入るときに失速しようとする可能性があるため、この状況をコントロールしてください。
メンタルアドバンテージ。

5.2 試合を開始するには

- リングをチェックした後、レフェリーはジャッジとリングサイドの医師が所定の位置にいることを視覚的に確認する必要があります。審判
各ジャッジとリングサイドの医師にそれぞれの立場を示すべきではありません
- レフェリーは両方のボクサーをチェックする必要があります。できれば最初に赤いボクサー、次に青いボクサーをチェックし、均一性が正しいか、グローブとヘッドガードの状態、ガムシールドとプロテクターの使用をチェックする必要があります。
- レフェリーは試合前の指示のために両方のボクサーをリングの中央に連れて行き、それぞれのボクサーに送り返します。
コーナー
- レフェリーは、技術代表/副技術代表に、試合を開始できることを確認する合図を送る。
- レフェリーは、タイムキーパーとゴング オペレーターにゴングを鳴らすように合図します。
- ゴングが鳴ったら、レフェリーは「ボックス」と命令して試合を開始しなければなりません。

5.3 ボクサーと話す

- レフェリーは、マイナー ファウルやホールドのアクション中にボクサーと話さずにお勧めします。
- レフェリーは、ボクサーと話さずときは基本的な言葉だけを使用する必要があります。
 - 例。「ノーホールド」、「ヘッドアップ」
- 可能な限り、レフェリーは違反したボクサーの国名を使用してボクサーを呼び出す必要があります-
 - 例。「(国名)、保有なし」；「(国名)ヘッドアップ」
- レフェリーは、両方のボクサーが理解できる言語/フレーズのみを使用する必要があります。
- レフェリーの命令は、ボクサーに有利/不利を与えてはならない
 - 簡単な英語のコマンドをお勧めします

IBA Referee and Judge Regulations

第5章 - 手順

5.4 注意事項

- マイナーファウルの場合
 - レフリーは試合を止めてはならない
 - レフリーは、違反したボクサーの視線を得るために最適な位置を探す必要があります
- すぐに警告を発する必要はありませんが、適時に警告を発する必要があります。
 - レフリーは、ボクサーの気を散らすことなく、違反を示すために口頭で短い指示を出す必要があります。
- 継続的なマイナーファウルの場合
 - 主審は「ストップ」を命じる
 - もう一方のボクサーをニュートラル コーナーに送る必要はありません
 - 主審は、手と短い言葉のジェスチャーを使用して、強い警告を発する必要があります。
- メジャーファウルの場合
 - 主審は「ストップ」を命じる
 - もう一方のボクサーをニュートラル コーナーに送る必要はありません
 - レフリーは、違反したボクサーに手と言葉のジェスチャーを使用して強い警告を発する必要があります。
 - レフリーは、反則をしているボクサーに完全に注意を払い、違反の非常に明確な合図を出す必要があります。
- 目に余るファウルの場合
 - 主審は「ストップ」を命じる
 - レフリーは、違反したボクサーに手と口頭のジェスチャーを使用して強い警告を発するか、警告を発することができます

5.5 警告を発する

- レフリーは「停止」を命じる必要があります。
- レフェリーは、もう一方のボクサーをニュートラル コーナーに送る必要があります。
- レフェリーは、違反しているボクサーをリングの中央に連れてくる必要があります。
- レフェリーは、問題のあるボクサーに手全体で示し、非常に明確に違反を示す必要があります。
手信号と口頭で
- レフェリーは、ボクサーに警告を発し、次に技術代表/副審に警告を発する必要があります。
警告が与えられたことを彼らに知らせるための技術代表（親指でそれを示す）
- コマンド「ボックス」
- 叱責を適用するために使用されるジェスチャーは、非常に明確でゆっくりとしたものでなければなりません

IBA Referee and Judge Regulations

第5章 - 手順

5.6 資格剥奪の発行

- レフリーは「停止」を命じる必要があります。
- レフリーは、「警告を発する」手順に従って、ボクサーに警告を発する必要があります。
- レフリーは、腕を振って「試合終了」の合図をしなければなりません (RSC または RSCI で終了する場合と同じ方法で)。
- レフリーは両方のボクサーをそれぞれのコーナーに送り、どちらも彼のコーナーに付き添ってはならない
 - 両方のボクサーがそれぞれのコーナーに引退することを確認します
- その後、レフリーはただちに技術代表/副技術代表にその理由を通知する必要があります。失格。
- レフリーは両コーナーに合図して用具 (グローブ/ヘッドギア)を外す。
- レフリーは、公式決定が発表される準備が整うまで、ニュートラル コーナーに退避する必要があります。
 - レフリーは、ボクサーやコーチとの会話に関与してはなりません

5.7 コマンド「時間」

- レフリーは、両手を「T」字型にして、「Time」という合図を出します。以下の図を参照してください。



- コマンド「Time」は、次の場合に使用されます。
 - 一時停止は10秒以上
- ガムシールドがずれる
- ボクサーの服装には注意が必要
- ボクサーをリングサイドドクターに連れて行く必要がある場合 (切り傷や怪我)
- の誤動作:
 - 採点システム
 - リング装備
 - その他、レフリーの管理外のもの
- 90 秒の回復時間を必要とするロー ブローの状況
- ボクサーがリングから落ちる
- コマンド「時間」は、2人のボクサーがパンチを投げるのをやめるべきであることも意味します

IBA Referee and Judge Regulations

第5章 - 手順

5.8 ガムシールドが外れてしまった場合

- 何らかの理由でガムシールドが外れた場合、それは「非裁量ファウル」であり、直ちに行動し、最低限の注意が必要です。
- 主審は「時間」を命じる
- レフリーは他のボクサーをリングドクターの反対側の中立コーナーに送ります。
- レフリーは綿棒を使って指を保護し (必要な場合)、ガムシールドを回収し、ボクサーをそれぞれのコーナーに連れて行き、コーチにガムシールドを洗ってもらいます。
- レフリーは手信号と口頭でボクサーに強い注意を与える。
- レフリーは、ボクサーにリングドクターの中立コーナーに同行し、ハイドロアルコールジェルで手を洗うように依頼します。(この手順は、COVID による制限が続く限り、追って通知があるまで実行されます)。レフリーは、必要に応じて手術用手袋を交換することもできます。
- ガムシールドが 2 回目に外れると、審判は

上記のプロセスに従い、ボクサーにもう一度警告します。

- ガムシールドが 3 回目に外れた場合、レフリーは上記のプロセスに従い、違反しているボクサーに警告します。
- ガムシールドが 4 回外れた場合、レフリーは上記のプロセスに従い、違反しているボクサーに警告します。
- ガムシールドが 5 回外れた場合、審判は警告を発し、違反したボクサーを失格とします。
- ボクサーがガムシールドを吐き出した場合、レフリーは上記のプロセスに従い、違反しているボクサーに警告します。
- 試合が警告または警告に続いて継続するすべての状況において、レフリーは「ボックス」を命じます。
- 警告/失格が必要な場合、レフリーは「警告」または「失格」に従う必要があります。
- 手順。

5.9 ベルの後にファウルが犯された場合 リング

- ベルが鳴った後にファウルが発生し、警告に値する場合、レフリーは、次のラウンド
- 次のラウンドの開始時に、レフリーは「停止」を命じる必要があります。
- レフリーは、適切な手順に従って注意または警告を発する必要があります。

5.10 ジャッジへの相談

- レフリーがジャッジに相談しなければならない場合、レフリーは
したほうがいい：
 - 「タイム」をコールし、ボクサーをニュートラル コーナーに誘導します
 - 5 人のジャッジそれぞれに「ファウルかノーファウルか」を尋ねる
 - 各ジャッジは、「ファウルあり、ファウルなし」または「見なかった」と回答します。
 - 決定は、過半数に基づいて下されます
アクションを見た審査員
 - アクションを見たジャッジの意見のみがカウントされます
 - 2 人のジャッジが「ファウルなし」と回答、2 人のジャッジが「ファウル」と回答、1 人のジャッジが回答
「見なかった」と答える = ノーファウル

• 例

- この結果の論理は、過半数が宣言されていない
ファウルが犯されたこと
- 4 人のジャッジが「見なかった」と回答、1 人のジャッジが「ファウル」と回答
= ファウル
- この結果の論理は 1 裁判官が多数決となり、結果を決定します
- 3 人のジャッジが「ファウル」と回答、2 人のジャッジが「ファウルなし」と回答 = ファウル
- 大多数がファウルが犯されたと宣言した

IBA Referee and Judge Regulations

第5章 - 手順

レフリーは、ジャッジの相談票を取得する際、レフリーが使用できる唯一の票は、違反を見たジャッジからのものであることに留意する必要があります。審査員が「見ませんでした」と答えた場合、その投票はまったく使用されません。

5.11 8カウントを管理するには

ボクサーが「ダウン」の状況にあるとき、レフリーの最優先事項は、負傷していないボクサーではなく、ダウンしているボクサーの安全です。

- レフリーは「停止」を命じなければならない
- レフリーはカウントを開始し、対戦相手をニュートラル コーナーに誘導します。
 - 数字の「1」がカウントされる前に、ボクサーが停止した時点から 1 秒の間隔が経過している必要があります。down、そして「one」を発表する時
 - レフリーは数字の間を 1 秒間隔でカウントし、1 秒ごとに針で示します。カウントされているボクサーがカウントを認識できること
 - レフリーは負傷したボクサーの真正面に手を置いてカウントを開始し、負傷したボクサーが常に手のカウントを見ることができるように、8 カウントの間ずっとこの位置を維持する必要があります。
 - カウント中、レフリーの手はボクサーの前で腕を伸ばした距離にある必要があります。レフリーはボクサーは常にレフリーのカウントを完全に把握している必要があるため、1、2、3、4 などの各カウントの後に手を上下に下げるようなカウントは控えてください。
 - カウント中、ダウンしているボクサーが安全な場合、レフリーはボクサーが視界に入る位置に配置する必要があります。ニュートラル コーナーでは、「ダウン」ボクサーに完全に集中し、常にダウン ボクサーに優先順位と注意を払います。レフリーはまた、相手のボクサーがニュートラル コーナーにいることを確認しようとしているときに、振り返って負傷したボクサーに背を向けることを控えるべきです。彼/彼女がニュートラル コーナーにいることを確認することは重要ですが、負傷したボクサーの 8 カウントほど重要ではありません
 - レフリーは、負傷していないボクサーがニュートラル コーナーに留まらなかった場合、カウントを中断するものとする
- エイト (8) カウントを管理している間、レフリーは次のことを監視する必要があります。
 - ボクサーの目と表情
 - ボクサーの安定性とバランス
 - ボクサーが準備完了位置にある場合
 - そして、ボクサーが本当に続けたいかどうかを判断する必要があります (ボディー ランゲージ)

ノックアウトの場合

- レフリーは「停止」を命じる必要があります。
- レフリーは、「8 カウントを管理するには」の手順に従う必要があります。
- レフリーが「10」と言った後、試合は終了し、KO と判定されなければなりません。

医療処置が必要なノックアウトの場合

- レフリーが 8 または 10 までのカウントがボクサーの安全に有害であると判断した場合、彼/彼女は権利を放棄します。試合から離れ、直ちに医師の診察を受ける
- レフリーは、リングサイドの医師から要請されない限り、いかなる状況下でもボクサーを動かしてはなりません。レフリーは、ガムシールド、ヘッドガード、シューズなどを外してはいけません。
- 主審は、主審から特に要求されない限り、リングサイドの医師以外の人員がリング内にいないことを確認する必要があります。リングサイドの医師

IBA Referee and Judge Regulations

第5章 - 手順

5.11 8カウントを管理する 続き...

クリーニンググローブ

ボクサーがキャンバスに倒れた場合、レフェリーは

- コマンド「ストップ」
- ボクサーにジェスチャーで腕を伸ばして手袋を見せてもらいます
- レフェリーは、ボクサーに自分のシャツで手袋をこすってグローブをきれいにするように身振りで示します。
 - レフェリーは自分のシャツで手袋を拭いてはいけませんが、手で拭くことができます
- コマンド「ボックス」



5.12 カットの場合

- レフェリーは、出血に気づいたら、「時間」の合図を出して、怪我の程度に応じてボクサーをリングサイドの医師のところに連れて行かなければなりません。
- レフェリーは必要に応じてボクサーをリングサイド ドクターに連れて行き、クリーニングと出血の評価を行います。
- 負傷部位からの出血が続く場合、レフェリーはリングサイドの医師に再度相談します。リングサイドの医師がお知らせします
ボクサーが続行するのに適しているかどうかの審判
- 顔面の切り傷が深刻でない場合、レフェリーは試合を止めずに、怪我を観察し、必要に応じて処置を講じるために位置を決めるだけです。ただし、目の周りの損傷は、最初にリングサイドの医師が評価する必要があります。
- 顔面の傷がひどい場合、審判はボクサーをリングサイドの医師のところに連れて行き、直ちに医師に知らせます。
負傷の原因の技術代表/副技術代表:
 - Clash of Heads (偶発的)
 - 法的な打撃
- ボクサーが頭突きや不当な打撃を受けて怪我や切り傷を負った場合、レフェリーは違反したボクサーを失格にしなければなりません。
レフェリーは試合を止め、問題のボクサーをニュートラル コーナーに送り、負傷したボクサーの治療のために医師に電話し (アドバイスではなく)、問題のボクサーをリングの中央に連れて行き、問題のボクサーにそれが意図的な頭突きであったことを警告し、審判に警告を示します。 DTD を実行し、違反したボクサーを失格にする
- レフェリーがボクサーをリングサイド フィジシャンに連れて行くべきかどうか迷っている場合、レフェリーはボクサーをリングサイド フィジシャンに連れて行くべきです。
安全が第一の関心事であるため、とにかくリングサイドの医師
- ヘッド オブ クラッシュにより試合が中断された場合、レフェリーはテクニカル デレゲートに通知し、ジャッジに試合の結果がポイントになることを伝え、ラウンドを記録するにはキーパッドのボタンを押す必要があります。

IBA Referee and Judge Regulations

第5章 - 手順

5.12 カットが続く場合…

鼻血

- ボクシングは格闘技であるため、鼻血が出る
- ボクサーの鼻から少量の血が流れている場合、レフェリーがアクションを止める必要はありません。
- 鼻から大量の出血がある場合、主審は「時間」を命じ、負傷していないボクサーをニュートラル コーナーに置き、レフェリーは手術用ガーゼで血液をきれいにし、ガーゼを捨て、必要に応じて手術用手袋を交換します。
- 鼻からの過度の出血、口の中の血、または喉に入る血がある場合、レフェリーは必要に応じてボクサーをリング ドクターに連れて行かなければなりません。

- レフェリーは、触ったり、握ったり、押したり、置いたりしてはいけません。ボクサーの鼻孔にあるもの。レフェリーの役割は怪我を治療することではなく、怪我を看護することです。
- 他のボクサーに血が付いている可能性があることを忘れないでください。手袋とドレスに血がついていないかチェックする

ガーゼの廃棄

- レフェリーが血液をきれいにしなければならない場合、レフェリーは「タイム」を命じる
- レフェリーはボクサーをニュートラル コーナー、できればリングサイドの医師がいる場所に連れて行きます。
- コーナーでは、レフェリーが血まみれのエリアをきれいにし、レフェリーが必要であると判断した場合、Ringside Physician、彼/彼女は Ringside Physician にボクサーの検査を依頼します
- レフェリーは、もう一方のボクサーがそのままであることを確認する必要があります。反対側のニュートラル コーナー
- レフェリーは、使用済みの手術用ガーゼを廃棄し、必要に応じて手術用手袋を交換する必要があります。

5.13 アバondon (ABD) /レフェリーストップコンテスト (RSC)

- セカンドはボクサーを次の方法で取り消すことができます。
 - エプロンを装着し、タオルまたは手で停止を合図する
 - タオルを投げる（審判のカウント中は除く）

ラウンド中にエプロンにセカンドが表示された場合

- IBA 競技規則 19.5 は、コーチ/セカンドがリングのエプロンに現れた場合、決定は放棄 (ABD) であると述べています。ただし、コーチは他の問題のためにパニックに陥っている可能性があり、審判は準備を整えて常識を働かせる必要があるため、そうではない場合があります。
- レフェリーがエプロンを装着したセカンドに気付いた場合、レフェリーは「ストップ」または「タイム」を命じる必要があります。
- レフェリーは両方のボクサーをニュートラル コーナーに送ります。
- レフェリーは、エプロンを着用する理由をセカンドに確認する必要があります。
 - ストップバウト
 - ガムシールドを忘れた
 - ボクサーの服装などを修正...
- これらの例は、レフェリーの決定に影響を与えます。
 - ストップバウト - ABD
 - ガムシールドを戻すか、ボクサーの服装を直す - 試合は続行

IBA Referee and Judge Regulations

第5章 - 手順

5.13 アバondon (ABD)/レフリーストップコンテスト (RSC) 続き…

ボクサーが休止期間中に退会したい場合

- レフェリーは、次のラウンドが始まるまで待たなければなりません。
- レフリーは休憩時間中に RSC を宣言してはならない
 - 主審は、技術代表にも反対側のコーナーにも通知してはならない
- 次のラウンドの開始時に、ボクサーまたはコーチが明確にリタイアの合図をした場合、レフェリーは「ストップ」を命じます。
- レフェリーは技術代表に決定を通知しなければならない。
- レフリーは、RSC の反対側のコーナーに通知する必要があります。

5.14 ラウンド残り10秒

- レフェリーは、タイムキーパーとゴング オペレーターからの信号音を聞きます。
- 合図を聞いたら、主審はアクションに近づき、レイト ヒットを防ぐために介入する準備ができている必要があります。としてレフリーは、アクションを妨害したり、自分自身を危険にさらしたりしてはなりません。

ボクサーがベルを混乱させた場合 (ラウンド終了)

これは、複数のリングが使用されている IBA 競技に適用されます。これらの場合、審判が近くにいる必要があります。

- ボクサーの片方または両方がグローブを下げるか、コーナーに向かって歩き始めます。
 - 主審は「停止」を命じる
 - レフリーは両方のボクサーに「準備完了」の位置にあることを知らせます。
 - レフリーは「ボックス」を命じる
- 両方のボクサーが待機位置にとどまっていますが、混乱しているように見えます
 - レフリーは「ボックス」を命じる

休息期間中

- レフリーは、両方のボクサーがそれぞれのコーナーにリタイアすることを確認する必要があります。
- レフェリーは、休憩時間はボクサーとコーチのためのものであることを尊重しなければならず、干渉してはなりません。
- 休憩中にボクサー同士が向き合うことは義務付けられていないため、レフリーは警告しないでください。
- レフリーは適切な姿勢で立つべきです
 - 両腕を横に下げて立つか、両腕を背中後ろに置きます
 - ロープを持ったり、コーナーに寄りかかたりしないでください
- レフリーは問題や懸念がないか、両方のコーナーを確認する必要があります。
 - 主審がリングエプロンに 2 秒以上いることに気付いた場合、主審は 1 秒以上退場するよう求めなければならないエプロン
- ニュートラルコーナーにいる間、レフリーは自分の服装をチェックしなければならない

IBA Referee and Judge Regulations

第5章 - 手順

5.14 ラウンド残り 10 秒 続き…

- ニュートラル コーナーにいる間、レフリーは技術代表/副技術代表、リングサイド
注意が必要な医師と裁判官。

レストピリオド残り10秒

- 合図を聞いたら、レフリーはリングの中央に移動する必要があります。
- レフリーは両方のコーナーを観察し、ボクサーがボクシングの準備をしていることを確認する必要があります。
 - コーチが席に着く様子が見られない場合、レフリーは適切な口頭での命令と身振りでコーチをリングから退場させるものとする。
 - 両方のボクサーにガムシールドがあり、過剰なワセリン/水がないことを確認してください
 - 両方の角がきれいであることを確認してください (角に水たまりがないこと、エプロンの上に水のボトルが残っていないこと、ボクサーの座席、等...)
 - レフリーがボクサーに前回の違反についてリマインダーを発行することは許される
円形

5.15 イベントの採点システム

誤動作

レフリーの適切な手順

- 技術代表は主審の注意を引く。ほとんどの場合、これは 1 分間の休憩中に発生します。
ラウンド
- ラウンド中、レフリーが「Time」と命令し、両方のボクサーに別々のニュートラル コーナーに移動するよう指示する場合
- 技術代表はレフリーにコンピュータが故障したことを伝え、レフリーに次のことをジャッジに知らせるように依頼します。
手動スコアカードの使用を開始する必要があります
- レフリーは、各ジャッジに手動スコア カードを使用するよう通知します。
- これらの行動は、すべてが制御されていることを伝えながら、落ち着いて自然な方法で実行する必要があります。
- 各ラウンドの終了時に、レフリーはジャッジから各マニュアル スコア カードを収集し、それらを TD に渡さなければなりません。
 - レフリーは各ジャッジのスコア カードをチェックして、スコアが明確かつ正確に書かれていることを確認する必要があります。

裁判官の適切な手続き

- 主審がジャッジに手動スコア カードの使用を開始するよう通知した場合、ジャッジは手動スコア カードを使用する必要があります。
各ジャッジのテーブルで利用できる手動スコアカード
 - 採点システムが故障した場合、ジャッジは手動のスコアカードを使用してラウンド全体を採点する必要があります。
- 各ラウンドの終わりに、ジャッジはスコアカードをレフリーに渡します。
技術代表

IBA Referee and Judge Regulations

第5章 - 手順

5.16 試合後の義務

試合後、レフェリーは：

- 最後のベルで、「ストップ」とコマンドします。
 - 主審はボクサーに背を向けてはならず、ボクサーがそれぞれのコーナーに退くのを待ってからニュートラルコーナーに戻る
- ボクサーが手袋を外すのを待ちます (適切な場合はヘッドガードも)。
- ボクサーにリングの中央に合図する
- この段階で、各ボクサーの努力、勇気、スポーツマンシップを称えて握手します。
- 握手をしながら、この機会に包帯をチェックしてください
- アナウンサーが決定を読む準備ができたなら、各ボクサーの手首を持って決定を待ちます
- 判定の際、審判は勝者の腕を上げる。
 - レフリーは常に中立を保ち、表情や驚きを示さないようにする必要があります。
- ボクサーがリングを離れると、レフェリーが退出します (先入れ後出し)。

IBA Referee and Judge Regulations

付録 I

倫理

自らの立場を利用して試合を不正に操作したり、試合を操作したことが判明したレフェリーやジャッジは、IBA 規律委員会の調査の対象となる可能性があります。

R&J向けガイダンス

- ボクサーの安全とともに、レフェリーの最優先事項は誠実さと公平さを保つことです
- ジャッジは、ラウンド中またはラウンド間で他のジャッジとアイコンタクトを避けるものとします。
- R&J はすべての利益相反を回避しなければなりません
- R&J は、いかなる状況においてもお互いに寛容と配慮を示さなければならず、全員がチームとして働いていることを忘れてはなりません。これには、ローカル組織委員会/ホスト連盟に敬意と感謝を示すことも含まれます
- R&J は、試合の決定に関して仲間のジャッジに報復してはなりません。
- R&J は、試合の決定に関して誰とも会話するべきではありません。
- R&J は、成長と改善は継続的な学習から得られることを理解する必要があります。
 - R&J は批判から学び、与えられた精神で受けとめるべきです。
批判は改善を助けるためにある
 - R&J は、改善の余地が常にあるため、割り当てられていないバウトを見て学ぶ必要があります。
他の人から学ぶ
- R&J は、ミーティングやセミナーを含むすべての手配に時間厳守である必要があります。
- R&J は、観客やメディアが常に見守る中、フィールド オブ プレーの周りでプロフェッショナルな礼儀を維持しなければなりません。
- R&J は、制服が清潔で整頓されていて、礼儀正しいものであることを確認する必要があります。
- R&J ラウンジは、R&J のメインの場所です。トイレに行く場合、または IBA スタッフから要求された場合を除き、このエリアを離れてはなりません。何らかの理由でラウンジを離れる必要が生じた場合、R&J は同僚の 1 人に通知する必要があります。
- R&J は現金を受け取ってはならず、贈収賄と見なされる可能性のある贈り物を受け取ってはなりません。
 - これには、R&J 自身の全国連盟、または他の全国連盟との食事または社交イベントが含まれます。
IBA によって承認されていません
 - これには、IBA によって承認されていない国内連盟からの贈り物が含まれます
- R&J は、競技前および競技中に意思決定に影響を与えるアルコールや薬物を摂取してはなりません。
- 競技会場の外では、R&J は技術代表および/または IBA スタッフの前に出られるようにする必要があります。
会議、ディスカッションなどに...
- R&J は、IBA からの事前の承認なしに、いかなる形式のメディア/プレスにも関与してはなりません。
- R&J は常に中立を保ち、フィールド オブ プレーの周りでボクサーやコーチと話すことを控える必要があります。
競技会場及び競技中
- R&J は、コーチやボクサーとの写真を避けたり、パブリック コメントを作成したりして、ソーシャル メディアの誤用を避けるものとします。
試合および/または決定について。すべての R&J は中立であり、競技の内外で中立を示さなければなりません

付録 II

IBA 役員 の 誓い

IBA 大会では、開会式で IBA 役員 の 宣誓 を 読む R&J が 選ばれます。

「 <NameofEvent> に 参加 する すべて の 関係 者 を 代表 して、私 は トーナメント の ルール を 守り、公平 性 と 正義 を 持つ て 競技 を 指導 し、すべて の 参加 者 の 努力 の 価値 を 認め、スポーツ を 向上 させる ため に 努力 する こと を 誓い ます。新しい 倫理 基準 へ の ボクシング の。」

IBA Referee and Judge Regulations

付録 III

IBA行動規範

行動規範

IBAは、継続的な改善とガバナンス プロトコルに沿って、ボクシング競技のオフィシャル、チーム オフィシャル、ボクシング アスリートまたは代表者として、このチャンピオンシップ イベントの期間中適用される次の行動規範に最大限の同意をお願いします。 IBAの統治機関の直下にある。

威厳

- 1.0 私は、自分の行動がボクシングや IBA のスポーツの評判を決して傷つけないようにするものとします。
- 1.1 私は、いかなる場合も、IBA と LOC の両方がこのチャンピオンシップ イベントのために設定したすべてのイベント規則を尊重します。
- 1.2 私は、スポーツまたは IBA の技術的またはその他の規則に違反することにより、いかなる当事者とも共謀または協力しないものとします。
倫理規定または懲戒規定。
- 1.3 私は、組織、任命された技術代表、すべての役員、大会の競技者を尊重し、常にプロ意識を持って行動するものとします。これには、LOC をサポートするものも含まれます。
- 1.4 いかなる状況においても、直接的または間接的に、賄賂または不当な影響力と見なされる可能性のある、いかなる形の報酬またはコミッション、またはあらゆる性質の隠された利益、サービスまたは贈り物を求めたり、受け取ったり、提供したりしません。
- 1.5 私は、ボクシング競技、試合、またはコンテストの決定を結論付けるものには賭けません。またはいつでも、どのような状況でも、内部情報を共有するものとします。

報告義務

- 2.0 私は、1.4/1.5 項に記載されているアプローチやオファーを受け取ったらすぐに報告しなければなりません。
技術代表または IBA が任命したスタッフに直接連絡してください。以下のメールアドレス Integrity@IBA.org または IBA 公式ウェブサイトの専用フォームを使用して、直接連絡することもできます。

嫌がらせ

- 3.0 私は、身体的、職業的、または性的であるかを問わず、いかなる形態のハラスメントまたは虐待にも関与せず、競技会以外での身体的または精神的傷害を引き起こしたり、扇動したりしません。この点に関して、私は IBA の嫌がらせ防止ポリシーを認識しています。
- 3.1 私は、人種、肌の色、宗教、性別、年齢、出身国、障害、または性的に基づいて人を差別しません
オリエンテーション。

ボクシング競技役員 の責任

- 4.0 私が IBA から受け取る可能性のある、またはボクシング 選手としての義務の過程で知る可能性のある、機密とみなされる情報
競技役員は、完全に秘密にしなければならず、開示してはなりません。
- 4.1 私は、役員、ボクサー、および/またはコーチと交流したり、親密になったり、関係を結んだりしません。
秒および/または他のチーム代表メンバー。私は、ボクシング競技役員としての公平性に疑問を投げかけるような行動をとらない。

IBA Referee and Judge Regulations

IBA行動規範 続き...

- 4.2 役員、ボクサーおよび/またはコーチ、セコンドおよび/または他のチーム代表団のメンバーと何らかの関係がある場合、私は直ちにこの関係を Integrity@IBA.org 宛に書面で IBA に開示しなければなりません。私は、この関係により、それ以上の大会への参加は認められない場合があります。
- 4.3 私は最高レベルの義務を果たします。私は、結果の過程に影響を与える偏った決定を決して下しません。
競争。
- 4.4 私は、大会会場内および/またはチャンピオンシップの全期間中のその他の場所内でのイベント関連の問題について、誰ともコミュニケーションをとらないものとします。メディア、大衆。私は、イベント中またはイベント後にソーシャル メディアで競技関連の問題についてコメントすることはありません。また、チャンピオンシップ中に、いかなる種類の紛争または過度のコメントを引き起こす可能性のある写真も表示しません。
- 4.5 私は、私に割り当てられたすべての指定された競技会の義務に間に合うようにします。
- 4.6 私は、各大会開催日またはその前に、ボクシング大会役員のミーティングに出席できるものとします。
- 4.7 私は、技術代表から割り当てられたすべての義務を絶対的な注意を払って履行します。
- 4.8 私は、競技会場内で、携帯電話、ラップトップ、タブレット コンピューターを含むがこれらに限定されない電子通信機器を使用したり携帯したりしません。例外的に、R&J 評価者およびオブザーバーは、ラップトップを使用して公務を遂行することができます。Ringside Doctors は、その役割要件に基づく例外です。
- 4.9 ボクシング競技役員としての職務を遂行するとき、私は常にプロフェッショナルな外観を維持するものとします。
- 5.0 私は、私自身を含め、ボクシング競技役員による決定または決定を批判したり、説明しようとしたりしません。
ただし、技術代表から要求された場合を除きます。
- 5.1 私は、以下のいずれかに関与または参加している間、私の判断を変えるようなアルコールまたは薬物の影響を受けてはなりません。
関連するすべての会議、セミナー、再教育、計量業務を含む IBA 大会。
- 5.2 私は競技会場、または喫煙場所として指定されていない場所では喫煙しません。

解釈と制裁

- 6.0 私は、この行動規範と IBA 倫理規範、IBA 規律規範、および IBA ハラスメント防止ポリシーに拘束されることに同意します。私は、この規範への違反が IBA 倫理委員会および/または IBA 懲戒委員会に付託される可能性があり、懲戒処分および私に対する制裁につながる可能性があることを認めます。
- 6.1 私はまた、競技会中に行動規範違反および/または IBA 倫理規範 / IBA 規律規範違反の疑いがある場合、調査が開始されている間、私の認定が差し止めまたは取り消される可能性があることを理解しています。または進行中。

名前: _____ 署名: _____

役割 (1 つに): 選手*/チーム役員*/競技役員

NOC コード: _____

日にち: _____

(選手とチーム関係者のみ)

(日/月/年)

IBA Referee and Judge Regulations

付録 IV

反則イラストピクトグラム

1. 肘打ち



2. 後頭部への打撃



3. 帯下のヒッティング



ステップ1



ステップ2

IBA Referee and Judge Regulations

付録 IV

4. 開いたグローブでの打撃



5. 背中を叩く



6. ダウンしている相手を殴る



ステップ1



ステップ2

IBA Referee and Judge Regulations

付録 IV

7. 膝蹴り



8. 頭突き



9. 持ち方 (本体)



10. 相手のホールド 腕



IBA Referee and Judge Regulations

付録 IV

11. ホールドとヒット



12. ストレートでクリンチ
武器



13. ボクサーを近づける



14. 相手にぶら下がる



IBA Referee and Judge Regulations

付録 IV

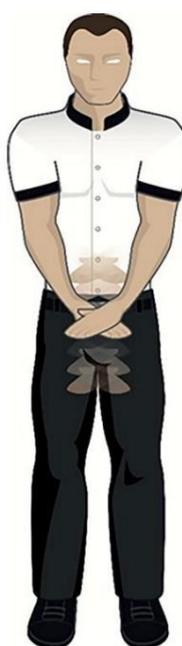
15. レスリング



16. つま先を踏む



17. スピアリング/測定



18. 頭を下げる

IBA Referee and Judge Regulations

付録 IV

19. 前腕で押す



20. レーシング



21. 「聞く」



22. 振り向く



IBA Referee and Judge Regulations

付録 IV

23. 完全受動防御



ステップ1

24. ロープの使用



ステップ2

25. ベルトラインより下にダッキング



ステップ1



ステップ2

IBA Referee and Judge Regulations

付録 IV

26. ヘッドアップ



ステップ1



ステップ2

27. マウスピースの注意



ステップ1



ステップ2

IBA Referee and Judge Regulations

付録 IV

28. ボクサー トーキング



ステップ1



ステップ2

